

東海道草津宿關係史料 (庄屋駒井与左衛門家文書) (三)

小林 博

〔駒井家文書 一五ノ一二〕

三 享和三亥年二月

御分間御絵図御用

宿方明細書帳

東海道  
草津宿

領主本多隱岐守

一 近江国栗太郡 草津宿 膳所領

一 江戸江道法百五拾里余

一 江戸之方石部宿江道法貳里半拾七町五拾五間

一 上之方大津宿江道法三里半六町

一 往還通江戸の右之方江道拾貳ヶ所

内 中山道守山宿道法壹里半

山田浜江道法壹里八町

其外者野道并近郷へ村道木ノ川村へ道  
法十五町程

一 往還通江戸の左之方道拾三ヶ所

内 近江国甲賀郡（甲賀）金勝寺江道壹ヶ所道法同三里

多羅尾四郎治郎様御陣屋近江国甲賀郡

信楽多羅尾道壹ヶ所道法凡九里

其外者野道寺道并近郷村道追分村へ道法拾町  
部田村へ道法拾五町

右之外ニ

膳所城下へ道法三里

但シ往還通りニ有之道ニ御座候得共領主

城下ニ付書加へ申候

矢橋江 道法壹里八町

但シ矢倉村の右之入口道ニ而同村も可申

上候得共継場ニ付書加へ申候

慶長七年御檢地

一 宿高千五百五拾七石貳斗貳升

内 五拾石 御朱印 常善寺

三拾八石六斗五升三合 御伝馬地子

残高千四百六拾八石五斗六升七合

内 千三拾貳石八斗三升七合 田方

四拾三石壹斗五升七合 屋敷

拾六石九斗貳升貳合 畑方  
三百七拾五石六斗九升五合 永荒無地高  
一加宿枝郷高ホ無御座候

江戸方大路井境上之方矢倉村境迄  
一 宿地内往還七百拾三間半 道巾三間余

但 宿内町並 東西貳町 町數九町  
南北七町  
東横町 西横町 壹町目 貳町目  
三町目 四町目 五町目 六町目  
宮町

一 右往還道橋普請之儀者領主方御座候  
一 往還通宿内折曲リ老ケ所  
一 往還通山坂ホ無御座候一躰平地ニ御座候

享和三亥年改

一 宿内人別貳千百九拾人 内男千六拾三人  
女千四百四十七人  
外ニ宿地内

一 留主川 人別九十五人内男四十九人  
女四十六人  
一 右家敷 拾八軒

一 宿内惣家敷 五百貳拾貳軒  
内貳百軒 本家之分

但右之内貳拾七軒ハ去夏流失仕リ  
未タ家作出来不申候

三百拾貳軒 借家之分

内 閘口拾九間 領主除地  
建坪貳百拾九坪半 貳町目  
玄關高麗門老ケ所 九藏

同 閘口拾九軒 老町目  
建坪百九十七坪 七左衛門  
玄關高麗門老ケ所

脇本陣 閘口六間三尺 貳町目  
建坪六十五坪 治郎左衛門  
玄關并門

同 閘口六間玄關共 貳町目  
建坪八十四坪 與左衛門  
門 無御座候

旅籠屋 七拾貳軒

大 五軒

中 貳拾軒

小 四十七軒

一 地子御免許 老万坪

一 但高三拾八石六斗五升三合

一 御金三拾貳兩貳步

右者御役所爲諸入用道中御用金之内於  
江戸表御渡被遊候由ニ而領主方年々頂戴仕候

一 御米七石 問屋給

右者年々信楽於御役所奉請取問屋役者共  
頂戴仕候

一 御米三拾六石五斗四升八合 御飛脚給米

右者年々信楽於御役所奉請取御繼飛脚御用  
相勤候者共頂戴仕候

江戸右の方

御高札場 高サ 壹丈壹尺  
長サ 壹丈五尺  
横 五尺五寸

石垣 高サ 貳尺六寸

右御高札場江戸右の方東海道中山道

追分ニ御座候普請之儀者前々領主より

御座候

一 御高札墨入之義者領主取扱来り申候

一 正徳元年御高札六枚

内

御伝馬 御高札 壹枚

忠 孝 御高札 壹枚

切支丹 御高札 壹枚

毒 薬 御高札 壹枚

火 附 御高札

駄 賃 御高札

一 明和七年四月強訴御高札壹枚

正徳元酉年被仰付候

一 諸荷物貫目御改所

但し問屋場ニ而立会取斗相勤申候訳別紙帳面  
奉差上候

一 問屋場 壹ヶ所

去ル戌六月迄ハ四町目江戸右側ニ御座候得共  
去夏洪水ニ而流失仕り候ニ付左側□□当方仮リ

問屋ニ而相勤罷在候

問屋

貫目改役兼

四人

年寄 三人

馬

秤取兼

五人

人足

秤取兼

六人

下働 六人

但 日々当番 問屋 壹人 年寄 壹人

馬指 貳人 人足指 貳人

下働 貳人

右之通日ニ相談御繼立仕候

右之外名主貳人日ニ見廻り申候

其外地下方年寄式人 組頭十八人御座候

一 御定人馬之吏

一 御朱印御証文其外御用御往来並諸御通行御繼立方  
平日仕来之訳  
御通行多時者宿役人不残罷出御繼立仕候

一 御朱印御証文之儀者宿人馬ニ而相勤申候尤宿人馬  
遣払候節者助郷へ觸当御繼立仕候

御用御通行御大名様方并平日諸御家中方其外御通  
行の方之御繼立も右同様宿人馬ニ而相勤其外助郷  
江觸当御繼立仕候

一 江戸京大阪其外も御証文附御状箱御用物御繼立方  
之訳問屋年寄立会於問屋場奉拝見持参のもの定置  
順々ニ而御繼立仕候差障□□節者手馴候もの雇立  
御繼立仕候

除地

一 正一位立木大明神 鎮座神護景雲元年

御社領高式拾三石 領主の御寄附

往還並江戸の右之方境内 東西七拾間余  
南北六拾間余

右境内ニ

本社 中門 瑞籬

拜殿 楼門 神

神輿藏 築地 石鳥居

御手洗池 石燈籠 妙法堤

右之内 御樓門并右左築地者鈎之御所様

御寄附と申伝候

但し足利九代吉尚上鈎寺内村御在陣被為遊

候旧地 鈎之御所と申伝御座候

末社 一棟 石川主殿頭様御寄附

多賀大明神 竜田大明神

稻荷大明神 賀茂上明神

末社 一棟 下

愛宕権現 弁財天女

山王権現 牛頭天王

広田大明神 大將軍

本地堂 天台宗山門正覺院末寺  
普賢院

広室 神宮寺

右境内名木名水無御座候

宿内往還並住居仕候

立木大明神  
神主

但宮町左側

小野出雲

宿内往還並住居仕候

立木大明神  
神子

但同所

伯耆

一 御朱印地高五拾石

淨土宗知恩院末寺  
常善寺

右寺宿内江戸左之方境内三千九百九十九坪余  
有之候内往還江地先五間四尺出御座候得共往還  
役水無御座候

一 除地 貳反五畝六步

日蓮宗京立本寺末寺  
法性山

円融寺

右寺宿内江戸左之方七拾老間余引込往還へ地  
先水出無御座候往還役水無御座候  
手挾二而御休泊ニ相成候義無御座候 名木名水  
無御座候

一 除地 四畝

淨土宗普願寺末寺  
宝樹山

眞願寺

右寺宿内江戸左之方六拾八間余引込往還へ地  
先水出無御座候往還役水無御座候手挾二而御休

泊ニ相成候義無御座候名木名水無御座候

一 除地 貳畝四步

東本願寺末寺  
布薩山

一 年貢地 老反貳畝六步

伝久寺

右寺宿内江戸左之方八拾九間余引込往還ニ地  
先水出無御座候往還役水無御座候手挾二而御休  
泊ニ相成候義無御座候名木名水無御座候

一 年貢地 貳反老畝廿貳步

西本願寺末寺  
館定山

淨教寺

右寺宿内江戸左之方四拾三間余引込往還へ地  
先水出無御座候往還役水無御座候手挾二而御休  
泊ニ相成候義無御座候名木名水無御座候

一 除地 五畝十六步

仏光寺末寺  
広山

眞教寺

右寺宿内江戸左之方四拾貳間余引込往還へ地  
先水無御座候往還役水無御座候手挾二而御休泊  
ニ相成候義無御座候名木名水無御座候

一 除地 老反六畝十五步

淨土宗知恩院末寺  
仏国山

正定寺

右寺宿内江戸の左之方見通し式拾間余引込往還  
へ地先ホ出無御座候往還役ホ無御座候名木名水  
無御座候尤宿方本陣差支之節御休泊ニ相成候義  
も御座候得共手挾ニ御座候

除地 壹反三畝拾五歩

仏光寺末寺  
鈴風山  
養專寺

一 年貢地 三畝拾八歩

右寺宿内江戸の左之方見通式拾間余引込往還江  
地先ホ出無御座候往還役ホ無御座候手挾ニ而御  
休泊ニ相成候義無御座候名木名水無御座候

一 除地 四畝拾六歩

東本願寺宗  
京金福寺末寺  
円教寺

右寺宿内江戸の右之方三町余引込御座候名木  
名水無御座候

右何連も大門并門前百姓無御座候

一 往還通掃除之義者宿内者不殘銘ニ而仕候

一 重キ御通行之節者其度ニ領主表江注進仕間之村々  
掃除之義領主役人ホ被相觸村限ニ掃除仕リ候

一 宿内往還長七百拾三間半 但し兩側共家居御座候  
右町数九町家居御座候ニ付路之掃除仕候

一 宿内御並木無御座候

一 宿内一里塚無御座候

但し草津の上之方大津宿迄之間壹里塚四ヶ所

壹ヶ所 左之塚 共野路村地内 木立松

壹ヶ所 左之塚 共大萱村地内 木立松

壹ヶ所 左之塚 共別所村地内 木立松  
字八町 繩手

壹ヶ所 左之塚 共松本村地内 木立榎

一 草津宿の上之方大津宿迄之間立場五ヶ所

内 壹ヶ所 矢倉村 餅

壹ヶ所 江戸之方草津宿へ七町

上之方大津宿へ三里半程

壹ヶ所 大萱村 新田村

江戸之方草津宿へ壹里

上之方大津宿へ式里平六町

一 沓ヶ所 勢田 橋本村

江戸之方草津宿へ二里八町

上之方大津宿へ沓里半程

一 沓ヶ所 勢田 鳥居川村

江戸之方草津宿へ式里余

上之方大津宿へ沓里半程

一 沓ヶ所 石場 松本村

江戸之方草津宿へ三里余

上之方大津宿へ半道余り

宿内沓町目境井川筋

一 石橋 沓ヶ所 巾三間半 長七尺五寸

去夏洪水之節流失仕当時仮橋者土橋ニ而御座候

一 石橋 沓ヶ所 巾三間三尺 長六尺

一 土橋 巾二間 長四間半 但し川中ニ橋杭三本ツ、式組御座候

去夏洪水之節流失仕当時仮橋ニ而御座候

一 石橋 字聖靈川 沓ヶ所 巾三間式尺 長五尺

一 宿場上之方并溝筋 石橋 沓ヶ所 巾式間半 長式尺

右橋之修覆掛替共領主の御座候

一 板橋無御座候

一 往還通右町裏 砂川堤 長六百九拾沓間 高サ八尺の沓丈式參尺迄 馬踏沓丈四尺 拾間拾四五間迄

但し川上追分村境の川下山田村境迄

右普請之儀者領主の御座候

一 関柵 無御座候

一 往還通字坂口 埋樋 長式間五尺 内法五寸

一 同所同前 埋樋 長式間五尺 内法五寸

一 同所同前 埋樋 長式間五尺 内法五寸

一 同所東横町 埋樋 長三間沓尺 内法七寸

一 同所同町 埋樋 長三間半 内法六寸

一 同所同町 埋樋 長三間半 内法六寸

一 同所同町 埋樋 長三間沓尺 内法六寸

一 同所同町 埋樋	長三間老尺	内法七寸
一 同所西横町 埋樋	長三間	内法四寸
一 同所同町 埋樋	長二間四尺	内法四寸
一 同所同町 埋樋	長三間三尺	内法四寸
一 同所同町 埋樋	長三間	内法四寸
一 同所同町 埋樋	長二間五尺	内法四寸
一 同所同町 埋樋	長二間三尺	内法四寸
一 同所同町 埋樋	長三間	内法四寸
一 同所同町 埋樋	長二間三尺	内法四寸
一 往還通三丁目 埋樋	長三間	内法老尺

一 同所宮町  
埋樋 長六間式尺 内法五寸

右普請之義者領主御座候

一 一 坑 樋 無御座候

一 火之元用水 宿内式ヶ所

内ヶヶ所 東横町ニ御座候

ヶヶ所 三丁目ニ御座候

一 田地用水往還通江戸之方左リ卅町斗東南ノ方岡本村辺之山ノ志津川筋江流来往還通江戸之方右式拾町程西山田之□□場村へ流夫より湖水江落入申候右川筋之水せ起溜々当宿田地用水ニ仕候  
 其余者左之相記し候溜池之水ニ而相用ひ申候

一 溜池 式ヶ所

内ヶヶ所 字郡上野東西百間程 但し 南北百八間余 辺リ不等

右者当宿往還通江戸之方左リ十五町程東、山寺村地内山際ニ御座候其流レ并部田村追分村田地悪水共老町目式町目之間井川筋 落合流来当宿之田地用水ニ仕候而十四五町下木川村へ流夫ノ湖水へ落入申候 右溜池水之義者格別早続之

節者水引落し井川筋を引取田地用水ニ仕候義ニ御座候

沓ヶ所 字込田 東西百間余  
南北百卅間余

右者田地用水ニ御座候

一 悪水堀 沓ヶ所

内 沓ヶ所 御本陣九藏南ニ御座候  
巾三尺七寸 長六十三間余

沓ヶ所 三町目四町目之間ニ御座候  
巾沓間式尺 長六十間余

右普請之義者所普請ニ御座候

一 郷藏 沓ヶ所 東西五間  
南北三間

右往還通り江戸より左之方四拾間引込字酒小路

と申所ニ御座候

一 宿内ニ御林無御座候

一 □□ニ御林無御座候

一 東海道宿内入口往還通り江戸より左之方ニ道中題

目石杭有之台石ニ 信樂道  
金勝道と御座候

一 掟杭 三本

沓本 宿内 江戸之方入口ニ御座候

沓本 宿内 中山道之方入口ニ御座候

沓本 宿内 上ノ方入口ニ御座候

一 道印 石杭 沓ヶ所 宿内御高札際ニ御座候

尤 右東海道伊勢道と御座候  
左中山道多賀道

一 宿内家並之外裏通り左右共田畑を山林ニ無御座候

一 宿内呑水之義者東横町西横町沓町目宮町右之外者

堀井戸ニ御座候其余之処者井川筋より取水ニ御座候尤往還江戸を右側ニ沓ヶ所左側ニ沓ヶ所往還端ニ御座候

一 当宿前後酒食を商ひ候□□ニ御座候

一 名物之義者竹根鞭ニ而御座候

一 男者農業之間ニ往還稼第一ニ仕其外日雇稼仕女者

糸をのべはたを織申候

一 五穀之外時々野菜物銘々相用候分斗作仕其外ニ多

ク作り他所へ売出候品ニ無御座候

一 当宿市立定日之義毎年七月十一日十二月廿五日ニ御座候

一 米ノ津出し之義矢橋浜迄道法沓里六町膳所迄海上凡卅町

一 竹木之類船積筏下之場所無御座候

一 御三家様方御飛脚□□無御座候

尤紀州様御通行前後凡三四拾日程飛脚と唱へ宿内

へ御居被成候ニ付御用宿申付候義と御座候尤御定者無御座候

東海道往還宿内入口  
砂川 巾式拾七間内  
本多隠岐守領分  
拾八間草津宿支配  
齊藤主殿様御知行所  
九間大路井村支配

一 中山道往還宿内入口  
砂川 巾拾三間半内  
本多隠岐領守分  
九間草津宿支配  
齊藤主殿様御知行所  
四間半大路井村支配

右砂川之義平生干川ニ御座候得共大雨ニ而出水仕候節者歩行越ニ仕リ候併川越錢之定者無御座候右川上凡弍里余三里程金勝山川阿星ヶ嶽駒坂山砥坂山觀音寺村桐生村を流来リ川下老里拾町余湖水へ流落申候

右川出水ニ而川止リ候程之義者稀ニ御座候ニ付御注進不奉申上候若堤切ハ仕□□之節御注進奉申上候尤満水之御御証文附御用物ホ者当宿之内留置宿役人共御大切ニ御番仕川明キ次第ニ即刻御越立仕候尤延期之義御断書相添奉差上道中御奉行様へ御注進申上候者無御座候仕来ニ御座候

- 一 川 御高札無御座候
- 一 川 会所船守ホ無御座候
- 一 川 ニ而魚取候場所無御座候勿論魚取渡世仕リ候者無御座候

一 宿内往還より左右見渡し候山々

江州野洲郡  
三上山 東之方ニ当リ  
道法凡二里半余

同国栗太郡  
金勝山 東南ノ方ニ当リ  
道法凡二里

右引続  
砥坂山  
桐生山

同国同郡  
田上 南之方ニ当リ  
道法凡三里

同国志賀郡  
石山 東南之方ニ当リ  
道法凡弍里半

同国同郡  
岩間山 西南之方ニ当リ  
道法凡四里半余

同国同郡  
膳所山 西之方ニ当リ  
道法凡三里

同国同郡  
三井寺山 西之方ニ当リ  
道法凡三里半余

同国同郡  
比叡山 西北之方ニ当リ  
道法凡五里余

一 山獵人渡世之者無御座候

一 宿内何之旧地古城之趾無御座候

一 川 老ヶ所 右者往還通り草津宿より江戸之方石部宿之間川辺

村上鈎村寺内村地内字葉山川平生者橋渡ニ而御座候得共大雨出水之節者歩行誠ニ相成申候満水之御御証文附御用箱御用物ホ者当宿役人共附添参リ右

川より上之方川辺村地内ニ而御留置御□□ニ御番

仕川明キ次第即刻御越立仕候尤遅刻之義御改書相  
添奉差上候尤道中御奉行様へ御注進申上義へ無御  
座候仕来リ御座候

一 草津宿を登リ方大津宿迄之間村名順

- 江州粟大郡 同国同郡
- 矢倉村 野路村
- 同国同郡 同国同郡
- 大萱新田村 大萱村
- 同国同郡 同国同郡
- 神領村 橋本村
- 同国同郡 同国同郡
- 別保村 中庄村
- 同国同郡 同国同郡
- 木下村 西庄村
- 同国同郡 同国同郡
- 松本村 大津宿
- 定助郷帳別紙ニ奉差上候
- 加助郷村々無御座候

右者五海道御分間御絵図御仕立御用ニ付宿村往還通  
リ之儀御尋ニ付書上候通相違無御座候以上

享和三亥年

二月

草津宿  
問屋

- 六左衛門 印
- 同 右右衛門 印
- 同 武兵衛 印
- 同 源右衛門 印
- 同 名主孫右衛門 印
- 同 八郎右衛門 印
- 年寄甚三郎
- 同 十右衛門
- 同 喜兵衛

御分間御絵図御用

御普請役

- 皆川定治 郎様
- 小林 周 介様
- 寺沢治郎左衛門 様
- 榎本清次 郎様
- 鈴木 逸 八様

四 安政四年丁巳閏五月四日長浜へ為御用御越被遊候

長崎御奉行兼  
御勘定御奉行

水野筑後守 様

四日守山宿御立  
当宿御休

大津宿御泊

御勘定役

高橋様

御勘定

小田直次郎様

日下部官之丞様

御普請役

御三方様

右之節御尋ニ付奉差上候書附之表

左之記

御尋ニ付奉申上書附

一 宿高千四百六拾八石五斗六升七合

本多下總守領分  
東海道  
草津宿

一 往還長七百拾三間半

但し矢倉村境中仙道迄  
四百四拾三間半  
中仙道口より東海道大崎井村境迄  
二百七拾間

一 家数四百七拾三軒

(家数人別共計己年宗旨) 改帳之通  
尤留主川村込ニ而

一 人数貳千五百八十式人

内男千貳百五拾人  
女千三百卅式人

一 旅籠屋 六拾六軒

(当節鑑札相渡有之高但し本陣両家  
除之)

一 飯盛 四六人

(近年定鑑札三十五枚同明役宿へ御免五枚  
田中東造へ御免五枚)

一 白米金老兩ニ付七斗一升四合

(今日木錢米代頂戴之割を以老升ニ付  
八十八文之見込)

一 麦金老兩ニ付八斗八升

一 大豆金老兩ニ付八斗三升

一 小麦金老兩ニ付四斗八升

一 金老兩ニ付錢六貫五百四十八文

(□□間屋ニ而兩替ニ致し相□ニ而)

一 酒造家四軒

但し株高五百七十四石貳斗四升

一 一ヶ年□米三百八十式石八斗貳升六合四夕

老升ニ付上貳百貳拾文

並百六拾文

五郎兵衛 株高百六十八石九斗六升

沖右エ門 百八十石

長二郎 百十式石六斗四升

同人持 百十式石六斗四升

傳右エ門 株高之三分戴造公義御定之通也

一 燈油絞家 五軒

但し老ヶ年菜種千五百八十石ノ上ヶ三百拾六石

此代銀百貳拾四貫八百貳拾目

伝助分伝七  
次郎八分吉藏

孫右エ門  
八十右エ門

四野者株仲間也

当所産物 鞭也

皆京大阪へ遣シ□亮□也

但し老ヶ年売上高金百拾兩斗

壳上六十五兩  
壳上四十五兩  
但し両家とも江戸へ壳捌凡半分通也

右御尋ニ付乍恐書付を以奉申上候処相違  
無御座候

安政四丁巳閏五月四日

問屋  
年寄

御勘定

御奉行所様

御用人中様

五

慶応元乙丑年十二月

立木社寄附田地之事

神主

小野長門

立木社奇附之事

一 屋鋪

式拾四歩

高老斗四合

一 字門田

老畝拾歩

高老斗七升四合

一 中田

老反廿歩

高老石六斗四升

一 同所

老反廿歩

高老石七斗式升五合

一 同所

老反老畝六歩

高老石七斗式升五合

一 字宮後

老畝歩

高老斗三升

一 上畑

拾歩

高四升三合

一 同所

上々畑

高三斗四升七合

一 上々畑

式畝廿歩

高三斗四升七合

一 反別合

式双八畝歩

高三斗四升七合

高合 四石老斗六升七合

右之田地奇附仕候依而神主江相預御年貢諸払物共  
都而屋敷田地ニ付入用之分相立差配可致事

一 字鐘突

一 下田

八畝六歩

高老石六升老合五夕

右之田地為神供料神主へ相預御年貢並諸払込共都  
而右田ニ付入用之分相立差配可致事

一 米

七斗六升式合四夕

右者御社領被下米之内御供料並神主給共配当之  
分ニ御座候間神主江相渡可申事

一 米

三石五斗也

右者神主給として先規之振合を以宿方へ可遣事

右者依願為宿内安全今般地下持屋敷并田地之内奇附  
仕相預申候処相違無之候然ル上者自今弥以無悔怠且  
御年貢諸払物ニ遲滞無之様可被致候為後念証状如件

慶応元丑年

庄屋

十二月

駒井與兵衛 印

深尾 又市 印

立木社

神主

六

近江国栗太郡

立木社由諸書

近江国栗太郡草津矢倉兩村産神

正一位立木大明神

祭神 武甕槌神

祭礼毎年四月初巳日  
中古へ四月三日

社伝云 当社立木大明神之儀者

人皇四十八代

称徳天皇御代神護景雲元年丁未年六月十六日常陸国鹿嶋より遷らせ給ふ□鎮座し給ふ所の藤樹柿樹今も阿里比柿木ニつきて深き謂連のあるが故に立木大明神と号す

立木の名是により始り

人皇四十五代

光仁天皇宝亀八丁巳年冬大旱にして近江国湖水宇治川水將絶依之湖辺

神社江

勅願ありて中臣諸魚を以当社江祈禱阿ら勢治ふ則神

意感心ありて翌年

春三月大ニ雨降る

同年六月廿一日

勅よりて中臣諸魚社を造営す此時神階をおくら勢給ひて

正一位立木大明神之

勅額を賜ふ土俗伝へ□□

光仁帝の御宸翰なりといへり但年曆相立爲雨露朽□此額墜ちて破碎したり然れとも文字の金泥祭々として光輝あり惜哉文字のに金後世の散失を恐れて破片を集め中古より匣中に納へおけり

長享元年丁未年將軍義尚公栗太郡鈎村に在陣之時当立木社江立願あり其後願成就に依て四脚門奉納ありと申伝へ今ニ鈎村にも其名残あるなり

神社啓蒙曰

立木神社在近江国草津駅札辻

祭神與春日同

社家者流曰当社垂跡與春日同躰神世于今以藤蔓為神

愛草云々

扶桑拾葉云

烏丸光広郷之東乃道の記に云草津を通るに道のかたりに東にむかひたる鳥居こえていと木ふかき森あり里人にとへ春日勸請と申ふしおかみて

神もまたいつくを指して

おわ須らん

これも春日の森とこそ

きけ

神宝 武甕槌神鹿嶋よりうつり給ふ時天広弟所杖の御弟なり

末社 十五座

境内 方老町余除地

御旅所 在矢倉村除地 字列詣と云

慶応四戊辰年閏四月

神主

小野佐渡

中臣秀国

七

慶応四戊辰年二月

御一新ニ付神事改正之規則

- 一 神事之義仕法中居家ニ候処近年振舞酒食ホニ付莫大之入費相立都而 □神之基を失候義別而
- 一 御一新之折柄恐入候儀ニ付当分左之通り相極則神納を以神興再建基金積立可申候間堅相守可申事
- 一 正月六日の張式として大檀々神酒老升錫老把相備大檀小檀共刻限勝手次第ニ社参可致尤町内親類たり共招候事一切無用之事

金七両

大檀神納

金三両

小檀神納

但し神納之義ハ四月三日地下方江差出シ可申

事

一 社参之義者時刻勝手次第当人斗社参可致尤町内親たり共招候義一切無用之事

一 正月十五日式之義者是迄之通ニ候得共不益之費相止メ可申事

一 金 千疋

新弓神納

一 外ニ神酒式升錫式把相備可申事

一 金 五百疋

中弓神納

一 金 五百疋

止リ弓神納

右神納金三儀者二月十日地下方江差出シ可申事

内 金老両

振舞料として差当尉衆呼立地下方相渡可申事

但し尉勤之年柄者振舞料不差遣候

一 新弓□□之者為挨拶酒式升錫式把若衆江差出候処向後酒老升錫一把ニ限可申事

一 立会之式者都而相休社参之義ニ候間□案内次第□

□社参可致候其節於拜殿左之通

屋寄

上リ弓

神前 此南

中弓

新弓

東へ  
五人  
程五  
衆若

右列座之上神酒頂戴ニ而引取候事

一 立会之式当分相休社参之儀者時刻勝手次第当人斗

社参可致候尤町内親類なり共招候義一切無用之事

一 金 拾両 居住神納

外ニ神酒壹升鰯壹把相備可申事

右神納之義二月十二日地下方江差出シ可申事

内 金壹両 振舞料として差当尉衆  
呼立地下方相渡可申事

金貳両壹分貳朱 右同断若衆江相渡可申  
居住取持人江相渡候事

一 立会之式都而相休社参之義者□□案内次第即刻社

参可致候其節於拜殿左之通

宿人 衆席  
居住当 若臨

神前

尉席  
一番臨

右列座之上神酒頂戴ニ而引取候事

附リ引取之節居住兩人江若衆兩人相從ひ

上リ尉江引付可申筈其若衆若衆者拜殿より

直ニ帰宿可致事

一 尉宿棚ガリ壹升米弓之祝土之祝之義者は迄之通相  
心得可申事

一 他所商人十分一取候義向後急渡相止メ可申事

一 御道見送り人足者地下方差出し可申事

附リ□□夜ニ入候ハバ役場高張差遣可申事

一 若衆宿ニ而馳走費ケ間敷義一切相省可成丈神納可  
致事

一 右何連も神事ニ付町内親類なり共招キ候義一切相  
止メ可申候若心得違之者有之候ハバ相勤メ候分ニ  
者相除可申事

右二月十二日四村三方尉共打寄申談之上如斯ニ候也

庄屋 深尾 又市

同 駒井與左衛門

年寄 辻五郎兵衛

同 八田 茂八

同 宇野長次郎



